

## 在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

### 八頭町家族介護教室（八頭町社会福祉協議会）研修会

テーマ： ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

～さいごまで自分らしく豊かな人生のために～

日時： 平成31年2月14日（木） 13:30～14:30

場所： 郡家老人福祉センター

参加者： 10名

#### 【概要】

八頭町が目指している住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるまちづくりを第7期八頭町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本理念に沿ってお話しました。

DVD「我が家に帰りたい（第二幕）」を見た後、もしものときは自分ならどうして欲しいか、家族ならどうしてあげたいかを参加者同士で話し合ってもらいました。そして、ACPとは、心づもりについて考えたり繰り返し話したりし、思いを共有する取り組みであることを伝えました。

ACPパンフレット、終活支援ノート「わたしの心づもり」についても説明し、普段から心がまえを、家族や大切な人たちと共有しておくようお話しました。



#### 【講師感想】

非常に熱心に講演を聞いていただきました。

話し合いでは、「自分が介護で苦労したので、家族には苦労をかけたくない」、「その場にならないと話し合えない」、「自分はどのようにしてほしいか書いておきたい」、「思っても切り出せない」など介護体験も交えながらの活発な発言がありました。

また、「どのように話し合いのきっかけを作ればよいか」という質問に対し、参加者から「自分も終活支援ノートを書くので一緒に書こうと切り出したらどうか」という意見もありました。

参加者の半数が介護を経験した方で、我々も今後の啓発活動に大いに参考となる研修会でした。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室 秋田和秀）